

給食ぱくぱくだより

令和6年5月1日（水）
和水町学校給食菊水共同調理場

●今日の献立●

中華丼(麦ごはん 中華丼の具)

牛乳

バンバンジーサラダ

抹茶大豆

＜ 新茶の季節 ＞

今日は中華丼です。ごはん^ぐに具^ぐをかけて食^たべましょう。

さて、今日5月1日は、「八十八夜」です。八十八夜は、2月3日の立春から数えて、88日目^{にちめ}の日のことをいいます。八十八夜は、茶摘みの盛んな時期でもあり、香りのよい新茶が出回り始めます。小学校3年生の音楽で習う「茶摘み」の歌の歌詞も、「夏も近づく八十八夜〜♪」からはじまりますね。

昔から、八十八夜に摘んだお茶を飲むと「1年間健康に過ごせる」、「長生きする」と伝えられています。お茶に含まれるカテキンは渋み成分ですが、病気の予防や殺菌作用、体の老化を遅らせるなど、様々な効果があると言われていて、その効果は日本だけでなく世界的にも注目されています。



熊本県でのお茶の栽培は古くから行われており、現在も、山鹿市の岳間茶、山都町の矢部茶、相良村の相良茶、八代の泉茶など、各地で薫り高いお茶が生産されています。今日は新茶の季節に合わせて調理場で抹茶大豆を作りました。家庭でも、急須で上手にお茶を入れて、味わいたいですね

調理場の釜で抹茶大豆を作っているところ。抹茶はお茶の葉を粉にしたものです。



給食ぱくぱくだより

令和6年5月2日（木）
和水町学校給食菊水共同調理場

●今日の献立●

じゃこごはん

ぎゅうにゅう
牛乳

わかたけじる
若竹汁

にく
肉じゃが

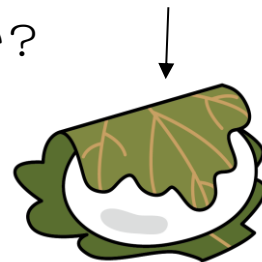
かしわもち

《 5月5日は 端午の節句 》

5月5日は「端午の節句」です。この日は、男の子の家ではこいのぼりをかかげて、ちまきやかしわもちを食べて子どもの健康や成長を願います。今日の給食は、かしわもちとともに、みなさんの成長を願って、1日に数10cmも伸びるたけのこをつかった若竹汁を取り入れるなど、端午の節句メニューにしました。たけのこには、「たけのこのようにすくすく育ちますように…」との願いが込められています。

では、ここでクイズです。「かしわもち」に使われているかしわの葉は、ある特徴があります。それは次のうちどれでしょうか？

- ①新しい葉が出るまで、古い葉が落ちない
- ②1年中葉っぱが落ちない
- ③新しい葉に変わるのが、とても早い



正解は①の「新しい葉が出るまで、古い葉が落ちない」です。そのため、「家系が絶えない」という縁起物として食べられてきたとされています。一足早い端午の節句の行事食を、味わって食べてください＾＾

わかたけじる つく はる
若竹汁を作っているところ。、春
の若布(わかめ)とたけのこの組
み合わせなので、「若竹」という
名前がついています。

